

平成 26 年度県民意見の提出状況について

宮 城 県

平成 26 年度に行っている政策評価及び施策評価に係る県民意見の提出状況等は、以下のとおりです。

記

- 1 意見募集期間
平成 26 年 5 月 26 日（月）～平成 26 年 6 月 25 日（水） [30 日間]
- 2 意見提出方法
郵便，ファクシミリ，電子メール
- 3 関連情報の提供手法及び周知方法
 - (1) 関連情報の提供手法
 - ① インターネット（県ホームページ）
 - ② 県政情報センター（県庁）での公表
 - ③ 県政情報コーナー（仙台以外の各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所）での公表
 - ④ 宮城県議会図書室での公表
 - (2) 周知方法
 - ① 新聞（河北・朝日・読売・毎日・産経）
・ 6 月 1 日「県からのお知らせ」欄に掲載
 - ② ラジオ
・ D a t e f m 「アラウンド・ザ・ミヤギ」（5 月 29 日，6 月 20 日放送）
・ T B C ラジオ「ラジオ県民だより」（5 月 31 日，6 月 21 日放送）
 - ③ メールマガジン
・ 宮城県メールマガジン「メルマガ・みやぎ」第 509 号（5 月 30 日発行）トピックスに掲載
 - ④ Facebook
・ 宮城県広報課 Facebook ページ（5 月 26 日掲載）
 - ⑤ チラシ配布
・ 県庁県政広報展示室，各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所でのチラシ配布
・ 県内市役所，町村役場でのチラシ配布
- 4 意見提出件数
2 件（2 人）

5 提出された意見の概要及び担当課の見解

	分野	政策・施策名	意見の概要	県の対応
1		政策評価・施策評価以外に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・政府は指定廃棄物の処理に関して最終処分場の候補地の三市町長に同意を求めているが、原子力政策の不安材料となっている。女川原子力発電所の再稼働が問題となっているが、放射能が国民の健康に与える影響など分からない点が多い。 ・農家は、TPPの交渉結果に注目している。結果によっては農業は大きく変わり、様々な問題が出てくるだろう。 ・現在は縦割り行政で国民の意見が十分反映されない場合があるので、職員も多くの人と接し、意見を役立ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境生活部及び農林水産部へ意見を送付しました。
2			<ul style="list-style-type: none"> ・指定廃棄物の最終処分場の候補地の一つに県下でも指折りの大自然を有する栗駒地方が挙げられているが、震災で更地になった石巻沿岸部に建設してはどうか。壊れることの悲しさを震災で知ったからこそ、人の手で大自然を壊すことになるのがとても辛い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境生活部へ意見を送付しました。